



安全広報

ごあんぜんに

Vol.43

四国地方整備局
港湾空港部
工事安全推進室

2022.7.1

巻頭ご挨拶

日頃より、港湾行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
 今年4月23日(土)、衝撃的なニュースが飛び込んできました。皆さんもすでにご承知の北海道の知床半島沖で観光船(KAZU 1)が沈没した事故です。主な事故原因として以下のような、運航会社のさまざまな安全管理が取り沙汰されています。(安全管理規定の違反)
 波が高くなるのが分かっていたにも関わらず出航した 出航判断基準を守らなかった
 運航管理者などが会社に不在で定点連絡がとれない状況だった 連絡体制の不備
 定点連絡に必要な衛星電話や無線が壊れていた 通信設備の不備

まだまだ原因究明はされていませんが、この事故は決して他人事ではありません。
 上の ~ を工事現場に置き換えると、以下のように繋がらないでしょうか？
 作業中止基準や労働安全衛生規則を遵守し、気象・海象などの自然を甘く見ない。
 現場の異変や不慮の事案等に備えた連絡体制や緊急時の連絡体制の確保。
 通信設備や警告・通報装置等の稼働確認。落下・防水等対策。複数の通信手段の確保。
 とりわけ については、前号でもご紹介させて頂いたWEBシステムによる遠隔臨場は、施工管理はもとより、安全管理、不慮の事態での迅速かつ的確な対応に非常に有効だと思います。

一方、最近の工事現場では笛(ホイッスル)の音が聞かれなくなりました。笛だけの合図は間違いやすいため禁止されているようです。上述の電子機器等を有効に活用しつつも、とっさに危険を知らせたり自身の存在を伝える手段として貴重なアイテムです。日常からの利用も含め存在価値を見直してもよいのでは...と思う今日この頃です。

(前)工事安全推進室長 遠山 憲二

人事異動(7.1付)工事安全推進室長 川口 悦史

(令和4年7月1日～7月15日)

安全強化期間 スローガン



不安全行動

注意しあって 災害ゼロ



四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、令和4年7月1日～7月15日を令和4年度第1回工事安全強化期間と定め、スローガン(標語)を用いたポスター掲示やワッペン着用、稼働中現場における安全パトロール等の取り組みを実施予定です。

港湾・空港関係直轄工事(全国)における死傷災害発生状況

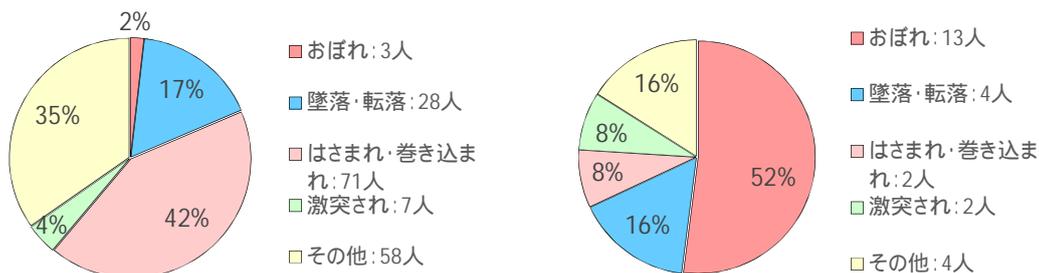
単位(人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
死亡者数	0	0	0	1	2
負傷者数(1)	11	15	12 (1)	16	7
負傷者数(2)	29	23	20 (3)	14 (2)	17 (1)
計	40 (0)	38 (0)	32 (4)	31 (2)	26 (1)

全国における合計件数。(): 四国における発生件数で内数。負傷者数(1)・・・休業4日以上、負傷者数(2)・・・休業4日未満

年々、死傷災害発生件数は減少しつつあるところですが、1,515日ぶりに死亡者がでた令和2年度に続き、昨年度においても死亡事故が発生しました。いずれも、作業における危険性の軽視・油断による作業手順の不遵守や作業手順書の不備など基本的な安全対策が不十分であったことが要因で生じたものでした。

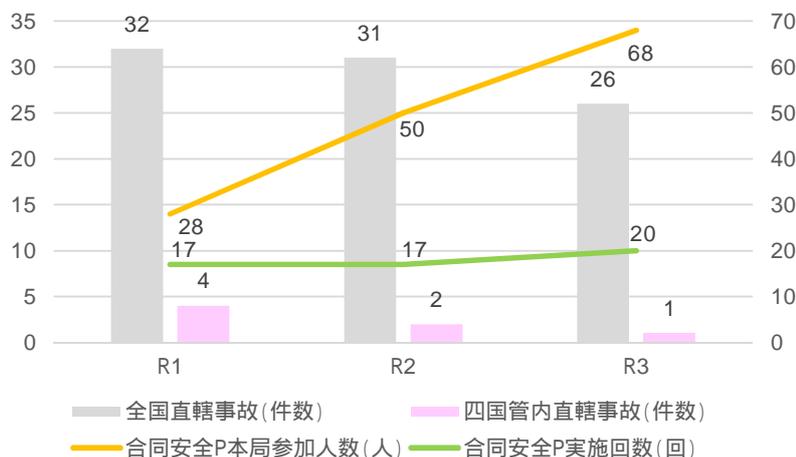
港湾・空港関係直轄工事（全国）における死傷災害発生状況（事故の型別）



港湾・空港関係直轄工事における死傷災害発生状況（事故の型別_過去5年間） 過去15年における型別死亡災害発生状況（港湾・空港関係直轄工事）

過去5年間で発生したおぼれについては、全て死亡災害となっていることや、平成25年度に沖ノ鳥島で発生した一度の事故で7人が死亡する事故を除いてもおぼれで死亡するというケースの割合が高くなっています。そのため、基本的な安全対策が確実に実行されるよう、今後も安全意識の再確認を行い、工事事故撲滅を目指しましょう。

令和3年度の合同安全パトロール等の実施状況について



令和3年度に実施した本局職員も参加する四国地整合同安全パトロールでは、コロナ感染防止を考慮し、県外の現場へ出向くことを控えていた期間もありました。しかし、WEBを活用することにより、参加人数及び実施回数について前年度を上回る形となりました。

また、遠方への移動時間の短縮に伴い、若手職員の積極的な参加が可能となり受注者も含めて現場作業に対する知識や経験・安全に対する意識の向上に繋がり、結果、前年に比べて死傷者数が減少したと考えられます。全国的にはまだ浸透していない状況ではありますが、四国地方整備局においては、積極的にWEBによる安全パトロールを実施していきたいと思っております。

公衆災害について

5月7日に海上の送電線に航行中のクレーン船が接触し、香川県直島町の全域で4時間停電するという事故が発生しました。この事案は公共工事関係ではありませんでしたが、長時間の停電の影響で当日開催していた「瀬戸内国際芸術祭2022」アート施設の一部が休館したほか多方面に影響が及びました。公衆災害については、港湾利用者や一般市民への影響が大きいことから、発注者・受注者双方共に、常日頃からの細心の注意をお願いします。



<あしがき>

みなさまのご協力により、港湾・空港関係直轄工事における死傷災害が年々減少傾向ではありますが、安全がすべての基礎となっていますので、引き続き、無事故・無災害の取組をお願いします。万が一、事故・災害が起きた場合については、迅速な対応・報告をお願いします。

